

令和7年度 西成区 こども・教育関連事業の実施について

1. 西成区こども生活・まなびサポート事業 **重点施策推進経費**（令和7年度 予算額 145,859千円）

(1) 事業概要

西成区内の小中学校に在学する児童生徒のうち、家庭生活面等で課題を抱えるサポートが必要な児童生徒に対し寄り添い型の支援を行う支援員や有償ボランティアを配置する。不登校の状況に応じた支援を行うことで、「不登校の実質ゼロ」を目指す。また、小学校低学年児童に対して授業中や休み時間等に寄り添い支援を行い、児童の学習姿勢を定着させ、学習習慣の定着、不登校の未然防止につなげる。

(2) 実施内容（支援員等の配置状況）

	区登校支援・見守り支援員	区居場所支援員	区学習姿勢向上支援員 区低学年サポーター
対象校	区内 16 小中学校	区内 1 中学校（今宮中）	区内 10 小学校
主な対象者	家庭生活面などで課題を抱える児童生徒（特に不登校の児童生徒）	学校に通うことはできるが教室に入ることが難しい不登校の児童生徒	小1 プロブレムなどが原因で学習姿勢が身についていない小学校低学年児童
配置人数 配置時間	各小中学校に 1 名（計 16 名） (1 日 7 時間 45 分勤務 週 5 日)	モデル校の 1 中学校に 1 名 (1 日 7 時間 45 分勤務 週 5 日) ※教育委員会事務局事業で、天下茶屋中、南津守小でも同様のスタッフを配置	【支援員】 各小学校に 1 名（計 10 名） (1 日 7 時間 45 分勤務 週 5 日) 【サポーター（有償ボランティア）】 各校年間 1,050 時間 1 時間あたり <u>1,200 円</u> の報償金
資格	小学生又は中学生の指導や支援経験がある者 など	小学生又は中学生の指導や支援経験がある者 など	【支援員】 保育士又は幼稚園教諭の資格を有し、保育園等での勤務経験がある者 【サポーター（有償ボランティア）】 教員を目指す大学生等を想定
業務内容	・電話・家庭訪問などにより児童生徒の登校を促す登校支援 ・学校にほとんど通うことができず、家から出られない児童生徒に対し、児童生徒の自宅を訪問し、学習、進路指導、相談対応など、不登校による不利益を生じないような支援を行う訪問支援	学校に通うことはできるが教室に入ることが難しい児童生徒に別室など校内の居場所を確保し、学びの場に定着できるように見守りを行う校内適応指導教室（スペシャルサポートルーム）における支援	小学校低学年児童が学習に向かえるように支援する学習姿勢向上に向けた支援

スケジュール	<p>(各支援員)</p> <ul style="list-style-type: none">・各学期末に全体集合研修（意見交換会）を実施。（7月31日、12月、3月） (登校支援・居場所支援)・各学期末に不登校に関する調査を各小中学校に依頼。（7月9日、12月、3月） (学習姿勢向上)・年度当初及び各学期末に学習姿勢に関する調査を各小学校に依頼。（4月8日、7月8日、12月、3月）・各学期中に授業の状況確認と打合せなどを実施。（6月10日：長橋小、6月12日：新今宮小）
--------	--

(3)進捗状況

- ・4月から順次各支援員を配置し、各学校の実態に合わせて活動を実施している。
- ・6月10日と12日に新任学習姿勢向上支援員（2小学校）の活動状況を確認した。担任の先生からは、支援員が授業中に周りの児童より行動が遅れている児童への声掛けなどの個別対応をしていただくことで、担任の先生が特定の児童に手を取られることなく、授業全体の進行を円滑に行えるようになっているとの意見をいただいた。
- ・7月31日に各支援員の全体集合研修を実施した。支援員同士による事例報告や意見交換を行い、今後の支援活動に役立つ好事例などの共有を図った。

2. 外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業 重点施策推進経費
(令和7年度 予算額 9,050千円)

(1)事業概要

学習言語が定着しておらず、学力に課題がある帰国・来日等の児童生徒に対して、母国の学校では学習していない内容や、生活言語を習得するまでに授業を受けたため十分に理解できていない内容などの補充学習を行い、教科学習を通して日本語指導を行うことにより、教科等の学習に必要な言語の能力である学習言語の習得を促進し、学力向上につなげる。

(2)実施内容

対象者	区内の小学校4年生～中学校3年生のうち、日本語指導教育センター校を通級終了程度の生活言語を習得した児童生徒。【日本語能力検定N4（一部）～N5程度のレベルを想定】また、日本語指導教育センター校に通級中であったとしても、日本語で簡単なコミュニケーションが取れるなど生活言語をある程度習得している児童生徒も受講可能。【日本語能力検定N5程度のレベルを想定】 ※講師は日本語で学習支援を行うため、児童生徒にはある程度の生活言語を習得していることが必要となるため、入塾に先立ち受講希望者の日本語習熟度を把握するために日本語能力試験を実施する。
申込方法	学校が受講者を推薦する。
定員	36名
科目	算数（数学）、英語、社会、理科から児童生徒の学習状況に応じて1教科を選択する。 ※国語は必須教科。
実施内容	児童生徒1～2名に対して講師を1名配置し、個別の学習指導を行う。
受講時間	小学生は100時間、中学生は150時間実施 ※中学生は、在籍校の授業や定期テストの課題など、現在進行形で困っている学習の手助けをする時間を設け、本事業に参加する意味づけを高める。
授業料	無料
場所	岸里小学校 水曜日：小学生17:30～18:30、中学生18:40～20:10 // 金曜日：小学生17:30～18:30、中学生18:40～20:10 鶴見橋中学校 火曜日：小学生17:30～18:30、中学生18:40～20:10 // 木曜日：小学生17:30～18:30、中学生18:40～20:10
スケジュール	令和7年4月8日（火） 小中学校の実務担当者向け事業説明会を開催 5月7日（水） 岸里小学校で授業開始 5月8日（木） 鶴見橋中学校で授業開始 9月 実力テスト（1回目）実施 令和8年2月 実力テスト（2回目）実施

(3)進捗状況

- ・各学校から受講者を推薦していただき、定員 36 名に対して、小学生 20 名、中学生 7 名の合計 27 名が参加しており、そのうち約 6 割が昨年度から継続して受講している。(7月末現在)
- ・受講者の学力に応じて、講師 1 名が受講者 1 ~ 2 名に対して「やさしい日本語」で個別指導を行っており、各教室での授業は概ね問題なく進行している。遡り学習が必要な場合に備え、小学校 1 年生 ~ 3 年生の教材（一部ルビあり）も用意している。

3. 学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業 重点施策推進経費
(令和7年度 予算額 8,358千円)

(1)事業概要

中学校の学力診断検査や高校入試の本番を想定した模擬テストを通じて、生徒の苦手分野を把握し、生徒にフィードバックすることで自身の課題を認識させるとともに、苦手分野の反復演習をすることで、個人の学力向上を図り、ひいては学校全体の学力の底上げを図る。

(2)実施内容

対象者	区内中学生（1～3年生）	
科 目	国語、数学、理科、社会、英語	
受験料	無料	
スケジュール	令和7年4月1日	受託事業者と契約締結
	4月15日	学校向け事業説明会を開催
	4月15～18日	デジタルドリルの更新及び新規登録後から利用開始
	5月下旬～6月	中学校3年生 模擬テスト受験
	7月4日	模擬テスト結果の返却及び演習問題（二次元コードリンク集）を配付し、テスト結果に基づく苦手分野の学習開始
	9月2日	3年生チャレンジテスト実施
	9月上旬	3年生のデジタルドリル活用状況について既習管理情報を学校へ提供依頼（効果検証用）
	11月下旬～12月	中学校1、2年生 模擬テスト受験 演習問題（二次元コードリンク集）を配付し、模擬テストと同様の単元問題の学習開始
	令和8年1月14日	1、2年生チャレンジテスト実施
	2月2日	模擬テスト結果の返却
	2月下旬	1、2年生のデジタルドリル活用状況について既習管理情報を学校へ提供依頼（効果検証用）

(3)進捗状況

- ・5月末から6月2日までに区内中学校3年生452名中385名が模擬テストを受験。
- ・模擬テストの結果から西成区の平均正答率と全国平均正答率と比較したところ、5教科全てで全国の平均正答率を下回っているが、英語、数学で1校ずつ全国平均正答率を上回っていた。
- ・7月4日に生徒個人に対し、テスト結果及び問題用紙を返却し、演習問題として模擬テストと同様の単元を容易に復習できる二次元コードリンク集を配付してテスト結果を基に苦手分野を学習。

4. 発展型学習支援事業(拡充) 重点施策推進経費 (令和7年度 予算額 23,284千円)

(1) 事業概要

家庭の経済状況の如何に関わらず本人が志望する水準の高等学校への進学ができるように、成績中上位層を中心とした学習意欲のある生徒に対して、発展的な内容の学習機会を提供することによって更なる学力向上を図る。

(2) 実施内容

対象者	区内の小学校5、6年生（定員140名）及び中学生（定員80名）
入塾テスト	学力に応じた事業への参加を促進するため入塾テストを実施し、発展的な学習授業を提供する。
科目	（小学生）国語、算数、英語 （中学生）国語、数学、英語 ※中学校3年生の長期休業中に理科・社会
時間数	（小学生）年間100時間 （中学1、2年生）年間150時間 （中学3年生）年間190時間（うち理科・社会が40時間） ただし、中学生は成績上位の高等学校に合格するには反復演習等が重要であり、授業で学習した内容を反復学習させるため、多くの宿題を課して家庭学習に取り組む時間を150時間以上設定し、学習時間を300時間以上確保する
授業料	無料
外部模試	五ツ木の模擬テストを1、2年生は年1回、3年生は年2回無料で受験できる
場所	（小学生）天下茶屋小学校、岸里小学校、玉出小学校、千本小学校、橘小学校、まつば小学校、長橋小学校、北津守小学校、南津守小学校、新今宮小学校 （中学生）成南中学校、梅南中学校
スケジュール	令和7年1、3月 事前周知チラシ配付（第1弾、第2弾） 4月1日 受託事業者と契約締結 4月 募集チラシを配付、学校訪問、入塾テスト 5月 授業開始、受講者1回目の実力テスト 6月 事前周知チラシ配付（第3弾） 7月 募集チラシを配付（2回目）、入塾テスト 9月 最終募集を周知（3回目）、入塾テスト、受講者2回目の実力テスト 10月 1回目及び2回目のテスト結果提出（効果検証用） 12月 受講者3回目の実力テスト（中学3年生） 令和8年1月 次年度事業の事前周知（第1弾） 2月 受講者3回目の実力テスト（小学5、6年生、中学1、2年生） 3月 次年度事業の事前周知（第2弾）

(3)進捗状況

- ・4月に受講者募集を実施、申込者は小学生75名、中学生42名。入塾テストを行い、合格者は小学生45名、中学生21名。5月より各実施場所にて授業を開始。
- ・7月に2回目の受講者募集を実施、申込者は小学生19名、中学生18名。入塾テストを行い、合格者は小学生15名、中学生13名。受講者合計は小学生60名、中学生33名（退塾者1名）。
- ・中学校3年生は夏休みから通常授業に加え、集中講座（理科・社会）を実施。

5. 西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)区長裁量予算 (令和7年度 予算額 143千円)

(1) 事業概要

区内の小学校5、6年生及び中学生に対し、小中学校校舎等の公共施設を活用した塾等事業者による課外授業（補習）を実施する。

(2) 実施内容

対象者	区内の小学校5、6年生及び中学生
科目	(小学生)国語、算数 (中学生)国語、数学、英語
授業料	月額1万円 (塾代助成カード利用可)
場所	(小学生) 北津守小学校、たちばな会館、玉出老人憩いの家 (中学生) 鶴見橋中学校、たちばな会館、玉出老人憩いの家
スケジュール	令和7年4月 参加者募集チラシを区内小学校5、6年生と中学生に配付 7月 参加者募集チラシを区内小学校5、6年生に配付 9月～11月 小学校で体験会を実施 12月 次年度事業の事前周知

(3) 進捗状況

・受講者数

小学校5、6年生参加者（6月末時点）合計 12名

北津守小学校 5名、たちばな会館 1名、玉出老人憩いの家 6名

中学生参加者（6月末時点）合計 68名

鶴見橋中学校 24名、たちばな会館 24名、玉出老人憩いの家 20名

・北津守小学校にて申込制で5月2日に体験会を実施し、5年生3名が入塾

6. 基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)区長裁量予算 (令和7年度 予算額 8,332千円)

(1) 事業概要

区内小学校3、4年生に対し、夏休みや平日の放課後、冬休みを利用し、小学校で塾等の事業者による課外授業を実施する。

(2) 実施内容

対象者	区内の小学校在学の3、4年生	
定員	前期：264名、後期 270名	
日時	3、4年生：年間45時間 うち、前期（6月～夏休み終了）20時間（夏休みや平日の放課後を中心に実施） 後期（2学期開始～2月）25時間（平日の放課後や冬休みを中心に実施） を基本に学校ごとに個別調整	
科目	国語、算数を重点的に実施 学校の希望に合わせて宿題サポートの実施	
スケジュール	令和7年4月1日結 4月14～18日 4月30日～5月16日 5～6月 6月10日～ 6月24日～ 6～9月 9～2月 9月上旬 令和8年2月	受託事業者と契約締結 学校と事業者の打ち合わせ 全小学校3年生にジャガピースクール体験会を実施 参加者募集、理解度テスト実施 前期参加者追加募集随時受付 後期参加者募集（～7/17） 業実施（前期） 事業実施（後期）※後期からの参加も可能、 1回目の実力テスト実施 2回目の実力テスト実施

(3) 進捗状況

- ・4月30日～5月16日に3年生児童に対して学校の授業時間を活用して体験会を実施。
- ・5～6月の前期の募集では定員が264名に対して192名参加。追加募集を行い12名が参加。
- ・6月24日から後期授業の募集を岸里小学校以外の9校で開始し、18名の参加予定となっている。（7月25日現在）※岸里小は10月に後期募集

7. 学習支援サービス(マイクロステップ・スタディ) 区長裁量予算 (令和7年度 予算額 405千円)

(1) 事業概要

個人にあった問題を出題する機能を持つ e ラーニングサービス「マイクロステップ・スタディ」を導入し、効率的に児童一人ひとりの学力や語彙の定着率を踏まえながら語彙力の向上を図り、誰も取り残すことなく学力と意欲の向上を図る。

(2) 実施内容

対象者	北津守小学校 3～6 年生	
科 目	漢字の読み	
方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスが授業時間等の毎日 5 分～15 分の時間を利用し、児童の学習者用端末も用いて学習を行う。 ・潜在記憶理論に基づく学習法（4段階回答方式）及び（※）独自のフィードバックシステムの採用。 <p>※ 学習した内容を潜在記憶が確実に積み重なっていることをグラフにし、学習履歴及び個人の成績の変化を可視化したもの。</p>	
スケジュール	令和 7 年 4 月 5 月～3 月	次年度の新 3～新 6 年生の児童管理番号を受託事業者（岡山大学）へ提供 ライセンス付与後、学習開始 7 月、10 月、12 月、3 月に学習データを岡山大学から提出

(3) 進捗状況

- ・5 月から週 4 回以上マイクロステップ・スタディに各児童が取り組んでいる。
- ・5～6 月末の学習データから学校全体で昨年より 1 月当たりの学習量が増加している。

8. プレーパーク事業 区長裁量予算 (令和7年度 予算額 22,153千円)

(1) 事業概要

魅力ある子育て環境を創出することで西成区に対する偏見やマイナスイメージを払拭し、西成特区構想でめざす子育て世代の誘引・定着への動機付けの一端を担う場となるべく子どもの生きる力を育む居場所であるプレーパークを実施する。

(2) 実施内容

○プレイス型（にしなりジャガピーパーク）

元来のプレーパークとしての「遊び場」だけでなく、子どもが課題を克服できる場として、学習支援を行う「学び場」、自己肯定感を高めることができる「たまり場」の3機能の形成を図り、それぞれの場が有機的に連携することで「生きる力」を育む子どもの居場所としてのプレーパーク事業を実施する。

開催日	土日祝日及び長期休み中の平日（計 54 日間）
開催時間	10 時～17 時（冬季は 10 時～16 時 30 分）
場 所	<ul style="list-style-type: none"> ・もと松之宮小学校校庭（<u>1ヶ月に1回程度</u>） ・もと今宮小学校運動場用地（<u>1ヶ月に1回程度</u>） ・<u>もと松通保育所所庭（1ヶ月に2回程度）</u> ・区内公園 など（開催回数制限なし）

○体験型（ジャガパーわくわくクラブ）

体験活動により子どもの好奇心を刺激し物事への興味や関心を広げ、ひいては学習意欲も引き出すことを目的として実施する。また、令和7年に区制100周年を迎えるため、子ども向け記念イベントも実施する。

【子ども体験活動】

開催日	土日祝日及び長期休み中の平日（計 18 日間）
開催時間	<u>10 時～15 時</u>
場 所	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>西成区内小学校体育館・運動場・多目的室等（各学校 年に1～2回程度）</u> ・西成区役所庁前広場・区民ロビー など（開催回数制限なし） ・区内公園 など（開催回数制限なし）

【区制 100 周年記念イベント】

開催日	令和7年 11 月 16 日（日）（予定） ※西成区民まつりと同時実施
開催時間	<u>12 時 00 分～16 時 00 分（予定）</u>
場 所	ノア・フットサルステージ天下茶屋

(3)進捗状況

(プレイス型)

- ・もと松之宮小学校 7 日、もと今宮小学校 4 日、もと松通保育所 5 日、計 16 日間開催し、平均来場者数 61 名（6月末時点）。

- ・5/31 は子ども元気まつり（松通公園）と同時開催し 234 名来場。

(体験型 わくわくクラブ)

- ・2 日間開催し、来場者数は 7 月 12 日玉出小学校 96 名、7 月 13 日橘小学校 75 名。以降順次開催予定。

(体験型 記念イベント)

- ・理科実験ショー、ワークショップ、あそび場スペース等のイベント開催予定。

**9. 西成区こどもの読書活動推進支援事業(拡充) 【小・中学校】校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)・
【未就学児】区長裁量予算(令和7年度 予算額 390千円)**

(1)事業概要

読書活動を行うきっかけづくりとして、年間の読了冊数に応じて賞状を贈呈する。なお、対象となる本は、学校図書館・西成図書館・移動図書館で貸出されているものとする。

今年度からは、未就学児が早い段階から読書に親しんでもらえるよう、家庭でえほんの読み聞かせを行った未就学児とその保護者に対しても賞状を贈呈する。

(2)実施内容

対象者	区内小・中学校に在籍する児童生徒 区内公立保育所及び幼稚園に在籍する未就学児とその保護者		
年間目標	小学校 1 年、2 年 100 冊	小学校 3 年、4 年 70 冊	
	小学校 5 年、6 年 50 冊	中学校 1 年～3 年 25 冊	
	未就学児 20 回		
スケジュール	令和 7 年 3 ～ 4 月 <u>7 ～ 8 月</u>	読書カードを児童生徒へ配付（必要校のみ） <u>えほんよみきかせカードを未就学児へ配付</u>	
	令和 8 年 1 月 2 月 3 月	集計依頼・ふりかえりシートの送付 読書（読み聞かせ）数を集計 目標達成者等へ賞状授与・学校等で区長表彰（希望する学校等） (最多読書賞も学校訪問時に表彰)	

(3)進捗状況

- ・令和 7 年 4 月～令和 8 年 1 月は、読書（読み聞かせ）活動の取組期間。
- ・令和 8 年 1 ～ 2 月に報告書の提出を求め、集計予定。

**10. キャリア教育推進支援事業 校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)
(令和7年度 予算額 261千円)**

(1)事業概要

西成区内在学の中学生を対象に、様々な分野で活躍するゲストティーチャーとの交流や講義を通して、ゲストティーチャーがどのような進路を選択し、どのような方法でその職業に就いたのかを学ぶなど、生徒が具体的な進路や将来の職業について考える機会を提供する。この機会をきっかけに、生徒が自己の進路を決定し、その目標に向かって学習や運動に取り組むことにより、学力や体力の向上につなげることを目標とする。

(2)実施内容

大阪市と連携協定を締結したプロスポーツチームよりゲストティーチャーを招く	
令和7年度実施校	今宮中学校・成南中学校・鶴見橋中学校
スケジュール	令和7年3月 学校にキャリア教育を実施する団体等の希望調査 令和7年4月～ 実施に向けた調整 6月～3月 事業実施

(3)進捗状況

- ・令和7年7月7日 成南中学校にてサントリーサンバーズ大阪のキャリア教育を実施。
- ・令和7年7月10日 今宮中学校にてオリックスバファローズのキャリア教育を実施。
- ・令和7年9月26日 鶴見橋中学校にてサントリーサンバーズ大阪のキャリア教育を実施予定。

11. 大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業事業 **区長裁量予算** (令和7年度 予算額 1,400千円)

(1) 事業概要

区内小中学校の児童・生徒がプロの演奏に触れ、大阪フィルハーモニー交響楽団を身近に感じてもらうことで、地域への愛着や誇りをはぐくむとともに、楽団員の楽器との出会いや成功体験などを聞くことで、将来の目標を見出していく人材の育成をめざすことを目的として実施。

(2) 実施内容

対象者	区内小学生、中学生
実施校	2年間で各小中学校訪問 ○令和7年度実施校 天下茶屋中（6/9）・玉出中（7/10）・梅南中（6/30）・天下茶屋小（6/23）・ 玉出小（5/26）・橘小（4/28）・まつば小（5/12）・南津守小（6/27）
場 所	各小中学校
内 容	各校の要望に合わせ、1～2コマ連続で実施

(3) 進捗状況

全8校実施済み

※9月13日（土）開催の「西成オーケストラ鑑賞会2025」に区内在住の小学校4年生～高校生とその保護者300名を無料ご招待。（行政オンラインシステムで申込受付中。8月31日締切）

場所：大阪フィルハーモニー会館、時間：午後2時～午後3時

12. 西成しごと博物館について

（大阪府中小企業家同友会南東ブロック西成住之江支部と協働実施事業）

(1) 事業概要

西成区や近隣のこどもたちに、地元の企業の仕事内容を理解してもらうことで、働くことの大切さや面白さを感じてもらい、地元に誇りと愛着を持っていただくことを目的として区内の企業に出展していただき、仕事見学・体験を行う。

(2) 実施内容

対象者	区内小学生・中学生、近隣のこどもたち
実施日時	令和7年11月9日（日）午前10時～午後4時（予定）
場 所	西成区民センター
スケジュール	実施内容については、区役所・大阪府中小企業家同友会西成住之江支部で協議中。

13. 帰国・来日等の子どものコミュニケーションサポート事業 校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)
(令和7年度 予算額 2,114千円)

(1)事業概要

帰国・来日等の児童生徒で、学校生活において日本の生活習慣等に支援が必要な児童生徒に対し支援を行う「帰国・来日等の子どものコミュニケーションソーター」を区内小中学校に配置することにより、支援対象者の学校生活の支援及び周囲の児童生徒への理解促進を行う。

(2)実施内容

活動実績に応じて、ソーターに報償金（1時間あたり 1,200円）を支給する。また、1回の活動あたり 1,500円を上限に交通費を支給する。

(3)進捗状況

- ・現在活動しているソーター数（7月末現在）
17名
- ・活動実績（全校合計）752時間
(内訳) 4月 132時間、5月 245時間、6月 249時間、7月 126時間

14. 小・中学校ソーター登録事業 区長裁量予算

(令和7年度 予算額 0千円)※予算額0千円であるが、区長裁量事業として実施

(1)事業概要

各学校で活動していただけるソーターの情報を西成区役所で募集・登録し、各学校へ紹介する。

(2)その他

大阪市と連携協定を結んでいる(株)YOLO JAPAN の外国人求人メディア（YOLO WORK）に帰国・来日等の子どものコミュニケーションソーターを募集しており、今後も引き続き掲載していく予定。

(3)進捗状況

- 紹介実績（7月末現在）
 - ・区低学年ソーター 2名
(上記 2名を含む現在活動しているソーター数 33名)
 - ・帰国・来日等の子どものコミュニケーションソーター 10名
(上記 10名を含む現在活動しているソーター数 17名)